

実施計画事業の取り組み状況まとめ 見方 【表面】

**活動指標、成果指標**  
 事業を実施するに当たり、指標及び目標値を設定し、これに基づく実績値を示しています。

活動指標：どのような活動を行うのか、どのようなサービスを市民に提供するのか等、行政が行う活動量を表す指標

成果指標：実際に行う活動や提供するサービスの結果、どのような効果をどれだけあげることができるのかを表す指標

**説明・算定式**  
 指標の説明を要するものについて記載しています。  
 5段階評価の場合、「5」が最も高い評価となります。  
 3段階評価の場合、「3」が最も高い評価となります。

平塚市総合計画 第1次実施計画期間における実施計画事業の取り組み状況まとめ 1頁

1. 事業の位置付け

事務事業名	市民・企業・大学等交流事業	
事業担当	企画部 企画課	
事業種類	○ハード ●ソフト	
総合計画の位置付け	01 基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よこひとふれあいにあふれたまち 03 (3×交流) ひと・文化の活発な交流が広がる環境をつくる 01 1 学術・文化・スポーツなどを通じた市民の交流活動を推進する	
権限法令等		
対象・受益者	市民	事業期間
委託・協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO ○その他】	【協働: 市民団体等】
目的・目標	市民、企業、大学などが相互に発展し、心豊かな地域社会となるよう、それぞれがもつ知的・人的資源が活用され、相互の交流が活発に行われています。	
事業の概要	市民、企業、大学などの交流を促進するため、文化・生涯学習、産業、スポーツ、福祉、環境などの各分野における交流事業の充実を図ります。	

2. 事業の検証

指標名	交流事業数	単位	事業	
説明・算定式	市民・大学交流委員会による交流事業数			
活動指標①	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	目標	10	10	8
	実績	10	10	9
活動指標②	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	目標			
	実績			
成果指標①	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	目標	16600	16650	8450
	実績	41982	31970	7704
成果指標②	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	目標			
	実績			

項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
事業	必要性	市民と大学との交流事業を実施するに当たり、平塚市・大学交流委員会の組織は必要ものであり、その中で本市が調整することによって、協働による事業が実施されています。	● 高 ○ 低
	有効性	事業計画・実施においては、平塚市・大学交流委員会の5つの推進部会により、協議、実施しており、市民ニーズを取り込んだ満足度の高い事業です。	● 高 ○ 低
分析	妥当性	5つの推進部会により、9事業が実施され、参加者も多く妥当性は高いと判断します。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	市民と大学との交流事業の実施に当たっては、経費削減に努めます。	○ 高 ● 中 ○ 低

**総合計画の位置付け**  
 「平塚市総合計画 生活快適 夢プラン」における位置付けを示しています。

**目的・目標、事業の概要**  
 第1次実施計画策定時に定めたものであるため、現在の内容とは異なる場合があります。

**事業分析**  
 事業を「必要性」「有効性」「妥当性」「効率性」の4つの観点から分析しています。

**執行率**  
第1次実施計画策定時に定めた計画事業費に対する事業費（決算額）の割合を示しています。

**人件費**  
各年度の平均給与により算出しています。

**進捗状況**  
活動指標の目標値に対する実績値の割合による評価です。  
：予定どおり  
・・・90%以上  
：若干遅れている  
・・・70%以上 90%未満  
：遅れている  
・・・70%未満  
進捗状況が 及び の場合のみ、遅れている理由を掲げています。

2 頁 (単位:千円)

3. 年度別事業内容・決算額

事業内容	平成19年度	平成20年度	平成21年度
	決算額	決算額	決算額
市民・大学交流委員会による交流事業など			
財源内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
起債	0	0	0
その他 特財	0	0	0
一般財源	2,215	2,030	1,705
<b>事業費 (A)</b>	2,215	2,030	1,705
<b>執行率 (%)</b>	100.00	91.65	76.98
内訳			
<b>職員 (A)</b>	0.60	0.60	0.50
<b>再任用 (A)</b>	0.00	0.00	0.00
<b>人件費 (B)</b>	5.035	5.035	4.178
フルコスト (A+B)	7.250	7.065	5.883

4. 事業展開の経緯

進捗状況	平成19年度事業分	平成20年度事業分	平成21年度事業分
	(1): 予定どおり	(1): 予定どおり	(1): 予定どおり
遅れている理由			
主な取組と成果	平塚市民・大学交流委員会において、文化・生涯学習、産業、スポーツ、福祉、環境の5つの推進部会により、10事業を実施することを通じ、それぞれがもつ知的・人的資源が活用され、相互の交流が活発に行われた。	平塚市民・大学交流委員会の文化生涯学習、産業、スポーツ、福祉、環境の5つの推進部会により、10事業を実施し、相互の交流が活発に行われました。各事業が、大学の参加により活気あるものとなりました。	平塚市民・大学交流委員会の文化生涯学習、スポーツ、福祉、環境、観光の5つの推進部会により、9事業を実施し、相互の交流が活発に行われました。
検証結果	A: 成果があがった <del>平成21年度への展開</del>	A: 成果があがった <del>平成22年度への展開</del>	A: 成果があがった <del>平成23年度への展開</del>
今後に向けた課題	市民、企業、大学等との交流を促進するに当たって、様々な団体、東海大学、神奈川大学、本市で組織された平塚市民・大学交流委員会は、事業促進母体として適しているが、事業内容についての見直しや新規事業の検討を行っていく必要がある。	市民、企業、大学等との交流を促進するに当たって、様々な団体、東海大学、神奈川大学、本市で組織された平塚市民・大学交流委員会は、事業促進母体として適しています。平成21年度から、産業推進部会事業を体系的に担当事業とし、新たに観光推進部会を設置し、研究と実践を目的とした事業を展開します。	市民、企業、大学等との交流を促進するに当たって、様々な団体、東海大学、神奈川大学、本市で組織された平塚市民・大学交流委員会は、事業促進母体として適しています。平成21年度に新たに設置された観光推進部会では、研究と実践を目的とした事業を展開していきます。

**事業内容・事業費**  
各年度に実施した事業内容及びこれに要した事業費を表しています。事業費は当該年度予算の他、継続費等その年度に執行した費用の合算です。  
実施する内容がない場合、「-」で表しています。  
事業費を要しない事業の場合、「0」で表しています。

**検証結果**  
成果指標の目標値に対する実績値の割合による評価です。  
A：成果があがった  
・・・90%以上  
B：おおむね成果があがった  
・・・70%以上 90%未満  
C：十分に成果をあげることができなかった  
・・・70%未満